

埼玉県 獣医師会 会報

第709号

令和4年11月20日編集

発行所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電話 048(645)1906
FAX 048(648)1865
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <https://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110-9-195954番

発行責任者 高橋 三男
編集責任者 大橋 邦啓
印刷所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記事の内容

- 埼玉県獣医師会 令和4年度集合狂犬病予防
注射実施者講習会開催のご案内 1
- 獣医師法第22条の規程に基づく届出について
(令和4年度は届出が必要です!) 2
- 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会・第
40回日本獣医師会獣医学術学会年次大
会(令和4年度)開催される 4
- 第66回埼玉県公衆衛生大会開催される 7

会務報告

- 第3回理事会 8

新入会員報告

- 新入会員紹介 9

予告

- 埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当(Web
講習会))のお知らせ 10

ひろば

- 埼玉県獣医師会学術講習会(さいたま市支
部担当(Web開催))の開催報告 11
- 岩槻区民まつりで動物愛護などを啓発 12
- 埼玉県特定家畜伝染病防疫演習の実施に
ついて 14

お知らせ

- テレビ埼玉で放映予定・高橋会長新春年頭挨拶 15
- 埼玉県からのお知らせ 16
- 日本獣医師会からのお知らせ 16
- 国内における高病原性鳥インフルエンザの発
生状況 19

- 埼玉県獣医師会学術広報版 20

事務局より

- 事務局メモ 20

- 編集後記 21

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう

1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう

1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう

1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう

1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

埼玉県獣医師会 令和4年度 集合狂犬病予防注射実施者講習会開催のご案内

(公社)埼玉県獣医師会会長 高橋 三男
狂犬病予防委員会委員長 青山 利雄

令和5年度集合狂犬病予防注射の的確な実施に向け、「埼玉県獣医師会集合狂犬病予防注射実施要領及び同細部要領」に基づき、「令和4年度集合狂犬病予防注射実施者講習会」を下記のとおり開催します。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、この2年間対面で開催することができず、資料を送付して熟読していただくことで開催に代えておりましたが、今回は大規模な会場を確保することができましたので十分な間隔を確保して開催することとさせていただきました。

内容につきましては、対面での実施要望が多く寄せられております「マイクロチップ装着の義務化」や「新たな税務制度インボイス」などにつきまして、日本獣医師会や税務署の担当者から最新情報を説明をしていただくことも計画しております。令和5年度集合狂犬病予防注射の実施を希望する先生におかれましては受講をお願いします。

1 日 時 令和5年1月13日(金)

受付 午後1時00分～

開会 午後1時30分

閉会 午後3時30分

2 場 所 レイボックホール 8階 大ホール

(さいたま市民会館おおみや)

さいたま市大宮区大門町 2-118

TEL : 048-641-6131

(JR 大宮駅下車 東口から徒歩3分)



3 その他

- (1) 当日は時間厳守にてお願いします。
- (2) 会場の駐車場(有料)の収容台数は限られております。
ご不便をお掛けしますが、周辺の有料駐車場や公共交通機関のご利用をお願いします。

獣医師法第22条の規定に基づく届出について

本年は2年に一度の届出（知事を経由して農林水産大臣に届出）を行う年になっております。

届出書（獣医師法施行規則 第6号様式）につきましては、本会報（第709号）に同封されておりますので、ご活用ください。

今回から用紙が変更になっていきますのでご注意ください。（メールアドレス、臨床経験、防疫業務への協力などの項目が増えています。）

なお、「届出書」は、令和4年12月31日現在の状況を記入し、令和5年1月1日から1月31日までの間にお住まいの都道府県に提出（郵送又は持参）する必要があります。埼玉県にお住まいの場合は、下記のとおり、直接提出していただくか、希望する会員の先生につきましては、本会事務局に1月20日（金）までに提出していただければ、事務局で取りまとめて埼玉県に提出します。

なお、住所が埼玉県以外の方は、お住まいの都道府県に提出してください。

記

- 1 提出先：〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1

埼玉県農林部畜産安全課家畜衛生担当あて

※注意：Eメールやファックスでの提出は受け付けできません。

持参の場合、受付は午前8時30分から午後5時15分までです。

（閉庁日（土日祝祭日）は受け付けできません。）

- 2 提出部数：3枚複写のうち、1枚目は届出者で保管し、2枚目と3枚目を提出してください。

※ オンラインでの届出もできるようになりました。

詳しくは、下記の農林水産省ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/22.html>

広告

人が食べるものと同じだけ安全で
美味しいものを愛犬にも与えたい。

ドクタークレド

Dr. CREDO

胃腸と皮膚が気になる

成犬用 総合栄養食

No.1

血流と健康が気になる

中・高齢犬用 総合栄養食

No.2

体重と健康が気になる

成犬用 総合栄養食

No.3

美味しさに
自信

ドクターイデア

Dr. IDEA

こだわりの国産品。

いつでも新鮮！小分けパック。

下部尿路に

No.1

体重管理に

No.2

7歳から

No.3

愛犬・愛猫のトータルサポートフード

着色料不使用

自然派由来の酸化防止剤



森久保CAメディカル株式会社

神奈川：046-206-5713
三郷：048-948-2112

山梨：055-267-6758
茨城：0296-54-6101

東京：042-564-2381
千葉：043-309-5430

埼玉：04-2968-0881

獣医師免許をお持ちの皆様へ

**令和4年12月31日現在の状況を、
お住まいの都道府県に届け出てください。**

- ◎ 獣医師には、獣医師法第22条に基づく
2年ごとの届出が義務付けられています。
- ◎ 令和4年度は届出が必要です。
- ◎ 届出様式に必要事項を記入の上、
令和5年1月1日から1月31日までに、
お住まいの都道府県に提出してください。



※届出様式や記載方法は農林水産省HP

(下記URL)に掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/22.html>

オンラインで届出ができるよう
になりました! 詳しくはこちら

獣医師 届出

検索



- ◆ 期日までに届出をしなかった場合、免許の取消し又は業務停止を命じられることがあります。
- ◆ 本届出は獣医師の分布、就業状況等を的確に把握したり、獣医療に関する通知等の情報配信等のために利用されます。

※ 結婚等により、本籍地の都道府県名、氏名や性別が変更された場合は、変更があった日から30日以内に、登録事項の変更申請が別途必要です。詳細は、農林水産省HP(下記URL)に掲載しています。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/zyui/menkyo.html#b>



**農林水産省 消費・安全局
畜水産安全管理課獣医事班**

第21回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会 第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (令和4年度) 開催される

日本獣医師会及びアジア獣医師会連合(FAVA)主催の第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会・第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会が、福岡県福岡市で次のとおり開催されました。

FAVAはアジア・オセアニア地域における獣医師の連携を図り、獣医学教育及び獣医学研究の改善に協力することにより獣医業の地位を向上させることを目的として1978年に設立され、日本を含む23か国・地域によって組織され、2年に一度FAVA大会を開催しています。今回の第21回大会はFAVAの会長に就任した藏内勇夫日本獣医師会会長が主催者となり、福岡県、福岡市との共催により開催されたものです。

日 時 令和4年11月11日(金)から13日(日)までの3日間

会 場 ヒルトン福岡シーホーク

参加登録者 約2,000名



会場のヒルトン福岡シーホーク



会場入り口

1 主なプログラム

特別シンポジウム「アジアからのワンヘルスアプローチを考える」Part I～Part Vや同時開催された「福岡県“One Health”国際フォーラム2022+FAVA」などが同時通訳付きで開催されるなど国際大会として盛りだくさんのプログラムが連日実施されました。主な内容は以下のとおりです。

(1) 特別シンポジウム

Part I <COVID-19とワンヘルス>

Part II <人と動物の共通感染症とワンヘルス>

Part III <薬剤耐性(AMR)とワンヘルス>

Part IV-1 <各分野及び機関におけるワンヘルスの取組みとその期待>

Part IV-2 <各分野のワンヘルスの取組み>

Part V <まとめ・閉会式>

最終日に行われた「まとめ・閉会式」では大会宣言「アジアワンヘルス福岡宣言2022」が採択され、藏内勇夫会長により調印されました(別添参照)。

(2) 地区学会長賞受賞講演

全国9ブロックの獣医学術地区学会で地区学会長賞を受賞した研究演題が発表されました。各学会での発表演題数などは次のとおりです。

ア 日本産業動物獣医学会

発表演題数 17題(うち関東・東京合同地区 1題)

学会長 佐藤 繁 岩手大学農学部教授

イ 日本小動物獣医学会

発表演題数 18題(うち関東・東京合同地区 2題)

学会長 佐藤れえ子 岩手大学農学部教授

ウ 日本獣医公衆衛生学会

発表演題数 11題(うち関東・東京合同地区 1題)

学会長 丸山総一 日本大学生物資源科学部教授



大勢の参加者で賑わう会場



特別シンポジウムで講演する藏内会長

2 ガラディナー(歓迎交流会)

12日(土)の午後6時30分からは、例年学会年次大会で行われる歓迎交流会がガラディナーとして開催されました。主催者を代表して藏内勇夫アジア獣医師連合会長・日本獣医師会会長が挨拶したあと、麻生太郎自由民主党副総裁(自由民主党獣医師問題議員連盟会長)や服部誠太郎福岡県知事をはじめ多くの来賓の挨拶があり、角田徹日本医師会副会長の乾杯により懇親に入りました。海外からの参加者を交え、全国の地方獣医師会会長や会員、多くの大会関係者が和やかな雰囲気の中で交流を深めておりました。



ガラディナー会場で交流を深める参加者

前列左から 中村滋副会長、鳥海弘神奈川県獣医師会会長、高橋三男会長、市川陽一郎千葉県獣医師会会長

後列左から 林繁雄理事、宗像俊太郎理事、八木賢裕監事、小暮一雄副会長、大橋邦啓理事

なお、今後の年次大会の開催日程は、次のとおりです。引き続き、会員の先生方の御協力をお願いします。

令和5年度

開催地 神戸国際会議場(兵庫県神戸市)

期 日 令和5年12月1日(金)～12月3日(日)

別紙

2022年11月13日

「アジアワンヘルス福岡宣言2022」

ワンヘルスは、動物と人の共生社会づくり、生物多様性や環境の保全などによって、地球や社会の持続的な発展を目指している。

現在、世界では、COVID-19、新型インフルエンザ、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)など人と動物の共通・新興感染症の国境を越えた発生や、薬剤耐性(AMR)が大きな課題となっている。

このようなことから、FAVA加盟国は、連携・協力してワンヘルスを実践しなければならない。

我々FAVA加盟獣医師会及び所属する獣医師は、ワンヘルスの先進地である福岡県において開催された第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会の成果を踏まえ、「FAVA戦略プラン2021-2025」に基づくワンヘルスアプローチを一層発展させ、その実践活動をアジア・オセアニア地域から世界に向けて発信することを決意し、以下のとおり宣言する。

1. 新興・再興感染症を含む人と動物の共通感染症の予防及びまん延防止に万全を期するため、感染源、感染経路及び宿主対策についての調査・研究体制を整備するとともに、情報の共有に努める。
2. 薬剤耐性菌が医療と獣医療において重大な脅威となっていることから、抗菌剤の慎重かつ適正な使用を徹底し、薬剤耐性(AMR)対策を推進する。
3. 動物と人が共生する社会を構築するため、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進する。
4. 獣医学教育の更なる整備及びワンヘルスアプローチによる国際連携により、WOAH (OIE) Day One Competencies(獣医師が具備すべき知識・技能・態度)を有する獣医師の育成に取り組む。
5. 医療関係団体、行政機関、市民団体及び大学、WVA、WOAH(OIE)、WHO、FAO、UNEPなどの国際機関と協力し、ワンヘルスの課題解決と推進に取り組む。
6. アジアにおけるワンヘルスの課題への研究と児童、生徒及び市民に対するワンヘルス教育の普及のために、FAVA活動の拠点を整備・強化する。

第66回埼玉県公衆衛生大会開催される

令和4年11月9日(水)午後1時30分から、さいたま市の埼玉会館小ホールにおいて、第66回埼玉県公衆衛生大会が開催され、本会の5名の先生方が「公衆衛生事業功労者」として埼玉県知事表彰を受賞されました。

当日は、主催者の大野元裕埼玉県知事の御挨拶に続いて、公衆衛生事業功労者や功労団体などの受賞者が紹介され、受賞者代表に知事から表彰状が授与されました。

来賓の埼玉県議会副議長並びに金井忠男埼玉県医師会会長が祝辞を述べられた後、高橋三男埼玉県獣医師会会長をはじめ保健医療関係団体の会長が紹介されました。

式典終了後、知事や来賓を囲んでの記念撮影が行われ、午後2時30分に閉会しました。

本年度受賞の栄に浴された埼玉県獣医師会会員の先生方は次のとおりです。誠におめでとうございます。

公衆衛生事業功労者表彰受賞者

滝沢 直樹先生 さいたま市支部(さいたま市)
 中村 誠一先生 南支部(草加市)
 田渕 淳先生 西支部(川越市)
 田口 正行先生 北支部(上里町)
 鈴木 儀弘先生 東支部(久喜市)



前列左から 4人において高橋三男会長、大野元裕知事、武内政文県議会副議長

中列右から 1人において鈴木儀弘先生(東支部)

会 務 報 告**第3回理事会**

令和4年10月26日(水)午後1時30分から、さいたま市「清水園」において次の事項を審議した。

1 報告事項**(1)前理事会後開催された委員会等に関する件**

各委員長等から委員会等の概要について次のとおり報告された。

ア 厚生委員会書面協議(堅木厚生委員長)

ソフトボール大会の開催中止について協議した。(6月17日)

イ 第2回獣医事調査委員会書面協議(林獣医事調査委員長)

新入会員について協議した。(10月11日)

後の課題である。

(2)業務執行理事職務執行状況に関する件

業務執行理事からそれぞれの職務について執行状況が報告された。

2 議決事項**第1号議案 令和4年度新入・転入会員の承認に関する件**

入会申込(開業部会3名、勤務部会5名)について審査の上承認した。

第2号議案 令和3年度傷病野生鳥獣治療業務等経費の配分承認に関する件

令和3年度傷病野生鳥獣治療業務及びアライグマ殺処分業務について、指定診療施設ごとの配分額を承認した。

第3号議案 役員報酬の支給に関する件

規程による支給の基準により、総会決定額以内で支給することを承認した。

3 協議事項**(1)令和4年度集合狂犬病予防注射実施者講習会開催に関する件**

新型コロナウイルスの感染状況により開催時期及び開催方法について検討することを決定した。

(2)令和5年度関東・東京合同地区獣医師大会(埼玉)、獣医学術関東・東京合同地区学会に関する件

令和5年9月3日(日)に大宮ソニックシティで開催することを決定した。

(3)愛玩動物看護師講習会に関する件

愛玩動物看護師国家試験が令和5年2月19日に開催されるため、会員の動物病院のスタッフが国家試験の合格に必要な対策を学ぶための講習会を埼玉県獣医師会主催で開催することを決定した。

(4)開業部会第2運営委員の交代に関する件

委員1名の交代について承認した。

(5)その他

令和4年11月11日(金)～13日(日)に福岡県で開催されるアジア獣医師会連合(FAVA)大会について情報を共有した。

新入会員報告

新入会員紹介



なかいずみ なおき
中泉 直樹
さいたま市支部



みなもと さとみ
皆本 里実
北支部



みさわ たすく
三澤 輔
東支部

開業部会

支部名	氏 名	診療所名
さいたま市	中泉 直樹	さいたま市・大宮クレールどうぶつ眼科
北	皆本 里実	秩父市・桜の森どうぶつ病院
東	三澤 輔	越谷市・越谷ねこの病院

広告

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

ASCO ONE to ONE dog food
CALL ONE™ 総合栄養食

Your dog's food based on the INTESTINAL FLORA INSPECTION.
A good intestinal environment keeps good health.

腸内フローラケア

腸内フローラ検査から
おなかの弱点をピンポイントに補う
世界に1つだけの
“うちの子” 専用
健康サポートフード

かわいい“うちの子”の写真入り
パッケージでお届け!!

詳しくはアスコセールスまで!!

本 社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027
東京都中央区日本橋1丁目16番地3号 日本橋木村ビル7階
TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

・北海道支店
札幌

・東日本支店
前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京
大宮、宮城、福島

・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋

・西日本支店
広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

予 告

埼玉県獣医師会学術講習会(西支部担当(Web開催))のお知らせ (獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(3) 小3(10))

西支部長 堅木 道夫
学術委員会委員長 高橋 一成
学術委員 岡田かおり

犬の外耳炎は一次診療では非常に多い疾患ですが、その中には犬種や基礎疾患などにより、治療が長期化するものも多くあります。西支部では大隅尊史先生をお招きして、難治性外耳炎の診断や治療の考え方をお話頂きます。

【大隅先生からのメッセージ】

「私の講演では、私が一次診療の時から使っている外耳炎の治療アプローチを紹介します。講義が固苦しくなってしまう様に、まずは簡単な初期治療ステップから紹介し、後ほど説明を付け足す予定です。質疑応答の時間も設けますので、是非この機会に耳への苦手意識を払拭していただければと思います！」
オンラインセミナーではハンドアウトをダウンロードして頂いていましたが、本講習会ではご希望の方にハンドアウトを郵送いたします。

印刷の時間を要するため申込締切は12月20日までとさせていただきます。講習会参加のみのお申込は2023年1月22日までです。お間違いのないように宜しくお願い致します。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：令和5年2月1日(水)
20:00～22:30

演 題：「犬の難治性外耳炎」

講 師：大隅 尊史 先生
株式会社動物の専門外来：代表
VST新宿耳科皮膚科センター：院長
東京農工大学附属動物病院皮膚科：レジデント指導医

参 加 費：無 料

視聴方法：Zoom形式

(Zoomを初めてご利用される方は<https://zoom.us/download>のサイトから
事前にダウンロードと登録をお願いいたします)

申込方法：下記のURLより事前登録をお願いいたします
<https://iil.la/5wscHvd>



締 切：ハンドアウトご希望の方12月20日(火)、講習会参加のみ方は2023年1月22日(日)

- ・受付確認のメールは送信されません
- ・1月27日頃に講習会参加用ID、パスワードをメールいたします

そ の 他：・参加者確認のため、アカウント名は本名でお願いいたします

- ・講習会の録画、録音はご遠慮ください
- ・生涯学習ポイントの申請をご希望の方は講習会を視聴後、事務局にお問い合わせください
- ・この講習会の見逃し配信は行いません

ひろば

埼玉県獣医師会学術講習会(さいたま市支部担当(Web開催)) 開催報告

さいたま市支部長 高橋 一成
学術委員 林津 陽平

10月25日(火)に日本大学獣医外科学研究室教授の枝村一弥先生をお招きし、「日常の診療で知っておくべき骨折・脱臼の一次管理」と題してZOOM形式のオンライン講習会を実施しました。

講義では基本的な骨折、脱臼の分類や治療の概論、治療方針の考え方から、各種の整復、一次固定法等を解説いただきました。また、インフォームドコンセントに必要な整復後のトラブル等についても解説いただきました。

参加者の皆様からは多くのご質問をいただき、日々の診療に役立つ非常に有意義な講習会となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

<参加者> 会員65名

広告

Gazing at the future

ZENOAQ

動物の価値を高めること。
それが、私たちの使命です。

 日本全薬工業株式会社
ZENOAQ 福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

www.zenoaq.com



第18回岩槻区民まつりで動物愛護などを啓発

「第18回岩槻やまぶきまつり」が、10月16日(日)に商工業や農業、福祉、医療など多くの関連団体が参加して、さいたま市の岩槻文化公園で開催されました。

令和元年は台風、令和2年、3年はコロナの影響で開催中止となり、4年ぶりの開催となりました。さいたま市支部と埼玉県動物指導センターがこのまつりに参加し、会員の先生方が動物の福祉や愛護について啓発活動を行いました。また、大橋邦啓先生(北支部)が代表を務める放鷹義塾も放鷹実演などで活躍されました。

開会式では、高橋三男実行委員長による主催者挨拶、来賓の祝辞の後、大橋先生が操る鷹が清水勇人さいたま市長に開会宣言を届けました。

さいたま市支部岩槻分会では、屋外のブースで盲導犬や聴導犬の育成のための募金活動を行っていました。募金をした皆様に協賛企業から提供していただいた品をプレゼントする抽選会を行いながら、盲導犬や聴導犬の役割を分かりやすく説明しており、ブースの前には長い行列ができていました。動物指導センターはペット防災コーナーを設置し、マイクロチップの読み取り体験などでペットに係る防災意識の向上を呼び掛けていました。また会場内では放鷹実演や鷹匠体験やポニーの乗馬や小動物とのふれあいも行われ、多くの来場者で賑わっていました。



高橋三男会長による主催者あいさつ
前列中央から 清水勇人さいたま市長、阪本克己さいたま市議会議長、
一人おいて古川俊治参議院議員(埼玉県獣医師連盟顧問)、小島信昭埼玉県議会議員(自民党県議団長)



右 鷹から開会宣言を受け取った高橋会長
左 宣言を読み上げる清水勇人さいたま市長



さいたま市支部岩槻分会の先生方
左から 高橋三男会長、川上顕分会長、
古川原敏江先生、加藤彰朗先生、
高橋一成さいたま市支部長



動物指導センターのブース前で高橋会長を
囲む動物指導センター職員（衛生支部）
右から 前野直弘所長（理事）、高橋三男会長
川崎貴子南支所長、小西亜矢子担当課長



放鷹義塾のブース（鷹匠コーナー）で活躍する会員
左から 大橋邦啓理事、高橋三男会長
森本雅彬先生（大橋獣医科医院）

また、11月3日（木）の文化の日には高橋三男会長が実行委員長となり、第10岩槻鷹狩行列が開催されました。徳川家康が鷹狩りで岩槻城を訪れて庶民の声を聴いたという言い伝えが再現され、公募により選ばれた市民が徳川家康などに扮して岩槻の街中を練り歩き、江戸時代にタイムスリップしたかのような光景で詰めかけた市民を魅了しました。

大橋邦啓先生はこちらでも鷹匠として大活躍をし、13階建てのホテルの最上階から放たれた鷹が我が国女性鷹匠の若きリーダー石橋美里さんの腕に舞い降りたり、開会セレモニーで鷹がくす玉を割ったりして喝采を受けていました。



オープニングセレモニー
左から 小島信昭自民党県議団長、一人おいて
村井英樹衆議院議員、阪本克己さいたま市議会
議長、高橋三男実行委員長、清水勇人さいたま市長



テレビカメラの前で放鷹術を披露する大橋邦啓先生
左は馬に乗った徳川家康

埼玉県特定家畜伝染病防疫演習の実施について

埼玉県農林部畜産安全課

県では、高病原性鳥インフルエンザ(以下、「HPAI」という。)などの特定家畜伝染病の発生に備えるため、令和4年10月21日(金)に埼玉県県民活動総合センター(伊奈町)において防疫演習を実施しました。

昨年度の県内におけるHPAI発生や、国内での豚熱及び近隣諸国におけるアフリカ豚熱の発生を受けて、生産者や行政機関、関係団体などから多くの方にご参加いただきました。

渡り鳥の飛来シーズンを迎える中、特にHPAIを中心に机上演習と実地演習を通じて、防疫対応の手順について理解を深めました。

このような演習は、反復継続して実施することが大切であるため、今後も定期的の実施し、防疫体制強化に努めてまいります。

○ 実地日時

令和4年10月21日(金)10:00～16:00

○ 内容

1 机上演習

HPAIや豚熱の発生状況、異常発見から防疫措置終了までの対応等について、スライドを用いて説明を行いました。

2 実地演習

参加者は、室内で感染防護のための正しい防護服の着脱方法の説明を受けた後、実際に着用してもらい、屋外グラウンドに移動した上で、生きた鶏を用いたケージからの取出しを体験してもらいました。

○ 参加者

123名

(内訳：家さん飼養者8名、関係団体20名、市町村19名、県67名、国・他県9名)



防護服の着衣演習



生きた鶏を用いたケージからの取り出し演習

お知らせ

—— テレビ埼玉で放映予定 ——

高橋会長「彩の国」新春年頭挨拶

とき…令和5年1月2日(月)

午前11時55分～12時00分

テレビ埼玉



広告

公益社団法人日本獣医師会の会員の皆様へ

集団扱制度のご案内



お得な制度ですのでぜひご利用をご検討ください！

特長1 保険料が割安！

- ・日本獣医師会会員を契約者とする「集団扱契約」により、保険料が5%割安です。
※集団扱一括払による割引適用
- ・自動車保険・火災保険で適用可能ですので、現在ご加入中の保険料より割安になる可能性があります。

5% off

特長2 ご家族等の方もご利用いただけます！

- ・被保険者（保険の対象となる方）は、①「ご契約者本人」のほか、②「①の配偶者*」、③「①または②の同居の親族」、④「①または②の別居の扶養親族」を設定できます。

* 配偶者には内縁の相手方および同性のパートナーを含みます。以下同様とします。

①契約者本人

②①の配偶者



③①または②の同居の親族

④①または②の別居の扶養親族

<お問い合わせ先・取扱代理店>

株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F
 TEL : 03 (3340) 6497 FAX : 03 (3340) 5700
 Mail : njkyousai@nichizei.com
 ご不明な点がございましたら、Mailでもお問い合わせ可能です。



<引受保険会社>

損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 TEL 03 (3349) 5402 (平日午前9時から午後5時)
 (SJ21-11019 2021.12.10)

畜安第681—3号
令和4年11月1日

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会長 高橋 三男 様

埼玉県農林部畜産安全課長
加藤 幸彦（公印省略）

高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認に伴う 監視体制の強化について（通知）

日頃から本県家畜衛生行政の推進につきまして、御協力いただき感謝申し上げます。

標記について、令和4年10月28日付け4消安第4022号により、農林水産省消費・安全局長から通知がありました。

また、これに先立ち、韓国での家きん農場における高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、令和4年10月23日付け農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知により、防疫対策の再徹底について通知があったところです。

このたびの岡山県及び北海道での本病発生は、国内における今シーズン初の家きんでの発生であり、韓国での発生状況や昨シーズンと比べ2週間早まって発生していることを踏まえ、今シーズンについても警戒を高める必要があります。

ついては、貴会会員に周知のうえ、引き続き、農場へのウイルス侵入防止の徹底等について、地域一体となった防疫対策の再徹底をお願いします。

4日獣発第198号
令和4年10月26日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内勇夫
（公印及び契印の押印は省略）

平成16年11月11日農林水産省告示第2019号（犬等の輸出入検疫規則第4条第1項の表輸入の項犬等の区分の欄の三の口の規定に基づき、同口の農林水産大臣の指定する検査施設を定める件）の一部改正について

このことについて、令和4年10月14日付け4消安第3418号をもって農林水産省消費・安全局長から別紙のとおり通知がありました。

このたび、平成16年11月11日農林水産省告示第2019号（犬等の輸出入検疫規則第4条第1項の表輸入の項犬等の区分の欄の三の口の規定に基づき、同口の農林水産大臣の指定する検査施設を定める件）が一部改正され、農林水産大臣の指定する検査施設が添付のとおり変更または追加がなされた旨、周知依頼がありました。

つきましては、貴会会員に周知方よろしく願いいたします。

4日 獣発第212号

令和4年11月4日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

令和4年度日本獣医師会獣医学術賞 「獣医学術奨励賞」及び「獣医学術功労賞」の選考結果について

令和4年度における日本獣医師会の獣医学術賞(「獣医学術奨励賞」及び「獣医学術功労賞」)については、本年10月27日に開催いたしました獣医学術功績者選考委員会において選考審査を行った結果、別記のとおり各賞の受賞者を決定したのでお知らせします。

なお、このたび決定した両賞受賞者の発表と表彰については、本年11月11日(金)～13日(日)の3日間開催いたします第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)(第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会と連携開催)の場において、大会内で選考を行う「獣医学術学会賞」の発表と表彰に併せて行いますので、多くの貴会会員獣医師に参加いただけるよう、広報等の協力方よろしく申し上げます。

【別記】

1 令和4年度日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術奨励賞」及び「獣医学術功労賞」の受賞者

【産業動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

ダイレクトPCR法による牛伝染性リンパ腫感染源リスク牛の検出

宮本真智子(北海道十勝家畜保健衛生所)、他

〔獣医学術功労賞〕

牛、豚の生産性向上のための繁殖生理および繁殖障害に関する研究

津曲茂久(元日本大学・教授)

【小動物部門】

〔獣医学術奨励賞〕

重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2感染により呼吸器症状を呈した飼い猫の1例

山田恭嗣(やまだ動物病院・北海道)、他

〔獣医学術功労賞〕

犬フィラリア症の早期診断法および予防薬の開発に関する研究

多川政弘(日本獣医生命科学大学・名誉教授)

【公衆衛生部門】

〔獣医学術奨励賞〕

野生動物でのオーエスキー病ウイルスの異種間伝播

南 昌平(山口大学)、他

〔獣医学術功労賞〕

滋賀県におけるボツリヌス食中毒予防に関する研究

林 賢一(元滋賀県衛生科学センター・所長)

2 受賞者の発表と表彰

日 時：令和4年11月12日(土)17:10~17:40

場 所：第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)

ヒルトン福岡シーホーク「アルゴスA・B・C」(展示会場)

事務連絡

令和4年11月17日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会

副会長兼専務理事 境 政人

**新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザに係る医療機関・
保健所からの証明書等の取得に対する配慮について(周知)**

このことについて、令和4年11月7日付け事務連絡をもって、厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部から、別添の通知がありました。

この度の通知は、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備え、発熱外来等のひっ迫を回避するため、①いずれかに感染し自宅等で療養する際、医療機関等が発行する検査結果を証明する書類や診断書を求めないこと、②いずれかに感染し療養期間後に復職する場合には、検査陰性の証明書や治癒証明書等の提出を求めないこと、③新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者と認定され、待機期間が経過した後に復職する際、検査陰性の証明書等の提出を求めないこと、④新型コロナウイルス感染症の感染の有無を確認する場合は、可能な限り抗原定性検査キットにより自ら検査した結果等で確認を求めること、について周知依頼されたものです。

つきましては、貴会会員に周知方よろしくお願いいたします。

令和4年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

MAFF
農林水産省

○野鳥 11道県42事例

※詳細は環境省HP参照 <https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird/flu/>

	検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1	神奈川県伊勢原市	9/25	ハヤブサ	HPAI	H5N1
2	宮城県栗原市	10/4	マガ	HPAI	H5N1
3	福井県南越前町	10/11	ハヤブサ	HPAI	H5N1
4	北海道野付郡別海町	10/8	黄便(ガンカモ類)	HPAI	H5N1
5	宮城県栗原市	10/14	マガ	HPAI	H5N1
6	新潟県新潟市	10/16	ハヤブサ	HPAI	H5N1
7	新潟県聖籠町	10/21	ノスリ	HPAI	H5
8	北海道紋別市	10/23	黄便(ガンカモ類)	HPAI	H5N1
9	北海道札幌市	10/28	ハシブトガラス	HPAI	H5N2
10	鹿児島県出水市	11/1	ナベヅル	HPAI	H5N1
11	鹿児島県出水市	11/2	ナベヅル	HPAI	H5N1
12	鹿児島県出水市	11/3	ナベヅル	HPAI	H5N1
13	鹿児島県出水市	11/4	ナベヅル	HPAI	H5N1
14	宮城県石巻市	11/2	オオハクチョウ	HPAI	H5
15	鹿児島県出水市	11/5	ナベヅル	HPAI	H5N1
16	鹿児島県出水市	11/6	ナベヅル	HPAI	H5N1
17	宮城県仙台市	11/4	オオハクチョウ	HPAI	H5
18	鹿児島県出水市	11/7	ナベヅル	HPAI	H5N1
19	香川県観音寺市	11/7	ヒドリガモ	HPAI	H5
20	宮城県日向市	11/6	マガモ	HPAI	H5
21	北海道紋別市	11/6	オオセグロカモメ	HPAI	H5
22	鹿児島県出水市	11/8	ナベヅル	HPAI	H5N1
23	鹿児島県出水市	11/7	環境試料(水)	HPAI	H5N1
24	鹿児島県出水市	11/9	ナベヅル	HPAI	H5N1
25	鹿児島県出水市	11/10	ナベヅル	HPAI	H5N1
26	鹿児島県出水市	11/11	ナベヅル	HPAI	H5N1
27	北海道釧路市	11/10	ハシブトガラス	HPAI	H5
28	鹿児島県出水市	11/12	ナベヅル	HPAI	H5N1
29	鹿児島県出水市	11/13	ナベヅル	HPAI	H5N1
30	鹿児島県出水市	11/14	ナベヅル	HPAI	H5N1
31	鹿児島県出水市	11/14	マナヅル	HPAI	H5N1

○飼養鳥 2県2事例

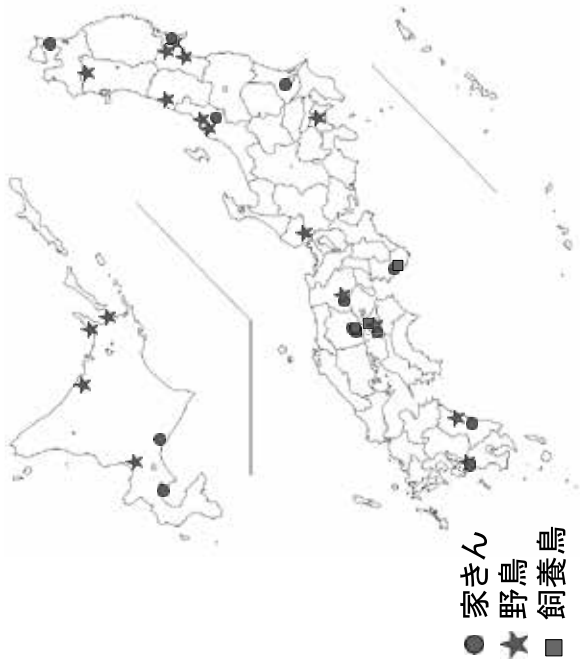
※詳細は環境省HP参照 <https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird/flu/>

	検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1	香川県丸亀市	11/7	コバクチョウ	HPAI	H5
2	和歌山県白浜町	11/13	モモイロペリカン	HPAI	H5

※ HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ
LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ

○家さん 11道県17事例 (令和4年11月24日時点)

	地域	疑似患者判定日	用途	羽数(約)	亜型
1	岡山県倉敷市	10/28	採卵鶏	17万羽	H5N1
2	北海道厚真町	10/28	肉用鶏	17万羽	H5N1
3	香川県観音寺市	11/1	採卵鶏	4万羽	H5N1
4	茨城県かすみがうら市	11/4	採卵鶏	104万羽	H5N1
5	岡山県倉敷市	11/4	採卵鶏	51万羽	H5N1
6	北海道伊達市	11/7	肉用鶏	15万羽	H5N1
7	岡山県倉敷市	11/11	採卵鶏	3.4万羽	H5N1
8	和歌山県白浜町	11/11	あひる等	約60羽	H5N1
9	兵庫県たつの市	11/13	採卵鶏	4.4万羽	H5N1
10	鹿児島県出水市	11/18	採卵鶏	12万羽	H5N1
11	新潟県阿賀町	11/18	肉養鶏	15万羽	H5N1
12	宮城県新富町	11/20	採卵鶏	16万羽	H5
13	青森県機浜町	11/20	肉用鶏	12.2万羽	H5
14	香川県観音寺市	11/22	肉用鶏	2.4万羽	H5
15	香川県観音寺市	11/23	採卵鶏	1.4万羽	H5
16	宮城県気仙沼市	11/23	肉用鶏	2.1万羽	H5
17	鹿児島県出水市	11/24	採卵鶏	7万羽	H5



令和4年度埼玉県獣医師会学術広報版

(令和4年11月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月			
7 月13日(水)		埼玉県獣医師会オンラインセミナー 「獣医再生医療汎用化時代を迎えて」 ひらの動物病院 平野 由夫 先生	
8 月			
9 月 4 日(日)	令和4年度 関東・東京合同地区獣医師大会(神奈川)獣医学術関東・東京合同地区学会 (藤沢市 レンブラントホテル海老名)		
10月25日(火)		さいたま市支部 「日常の診療で知っておくべき骨折・脱臼 の一次管理」 日本大学 枝村 一弥 先生 【Zoomにて開催】	
11月11日(金) ～13日(日)	第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会、令和4年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (福岡市 ヒルトン福岡シーホーク)		
12月6日(火)		南支部 「肺炎の病態とその対処法～とりあえずの 抗菌薬治療からの脱却～」 どうぶつの総合病院 佐藤 雅彦 先生 【Zoomにて開催】	
令和5年 1 月	農林支部 令和4年度埼玉県家畜保健衛生 業績発表会 (さいたま市 埼玉会館)		
2 月 1 日(水)		西支部 「犬の難治性外耳炎」 東京農工大学付属動物医療センター皮膚科 大隅 尊史 先生 【Zoomにて開催】	
2 月			衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
3 月 1 日(水)		北支部 「演題 未定」 米国獣医放射線学専門医 村上 正紘 先生 【Zoomにて開催】	

事 務 局 メ モ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vma.org/>
ID：SVMA（半角・大文字） パスワード：MITSUO（半角・大文字）

- 11月9日 第66回埼玉県公衆衛生大会
(さいたま市 埼玉会館)

11月11日 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)
～13日 大会、第40回日本獣医師会獣医学術学会
年次大会(令和4年度)(福岡県福岡市 ヒ
ルトン福岡シーホーク)

11月19日 彩の国食と農林業の祭典ドリームフェスタ・
20日 畜産フェア
(行田市 古代蓮の里)→開催中止
- 令和5年
1月18日 知事と農林水産団体長との賀詞交換会
(さいたま市 知事公館)

2月26日 第3回関東・東京合同地区獣医師会理事
会(神奈川県藤沢市 藤沢商工会)

12月1日 令和5年度日本獣医師会獣医学術学会
～3日 年次大会(兵庫県神戸市 神戸国際会議場)

編集後記

今年も残すところ1ヶ月足らずとなりました。歴史に残る大きな出来事が多い年でした。

この時代にやるのか??と己を疑った2月のロシアのウクライナ侵攻、そしてエリザベス女王の逝去、日本では安倍総理が凶弾に倒れ、酷暑、台風14号被害などあげればきりが無い。

ロシアは海底天然ガスパイプラインシステムのノルドストリームやウクライナの多くの発電所を爆破している。これから冬に向かうヨーロッパの住民に凍え死ねと言うのか?北ヨーロッパの寒さは日本の比ではない。卑劣極まるやり方に手をこまねいていたくはない。1日でも早く停戦に持ち込んで欲しいものである。

平和ボケしている日本人には理解しかねるが、この現実を受け止め日本も将来への対応を怠ってはいけない。戦争には反対するが自国は守らなければいけない。こんな国が相手では北方4島どころか2島も期待薄だ!

いつの間にか我が国の先進技術や経済面の国力は先進国に水をあけられた。特に中国の追い上げはすさまじく、昭和末期頃の猛烈社員やバブル経済、日本バッシングなどの言葉が流行したところから、アメリカや日本に大勢の中国人留学生が送られて、不眠不休でがむしゃらに努力し勉強していた、その結果が現在に表れている。そして今では米国までもが恐れるような国になってしまった。あの頃の中国の人たちのハングリー精神はピリピリしていて近づくのに気が引けた。日本はもう追いつけないのか?

利根川を渡った隣の群馬県板倉町で豚熱が発生した。埼玉の養豚場は10キロ圏内に入った。9月27日には防疫措置が完了したそうであるが、石川県ではイノシシが街中を闊歩しているニュースを見た。いつまでもこのままで良いのだろうか?予防を確実にする為と豚へのストレス軽減、養豚農家への費用負担の軽減に以前に使用していた豚熱と豚丹毒の混合ワクチンを使える様に是非検討して頂きたい。

そして、寒くなると共に高病原性鳥インフルエンザがあちこちで発生してきた。感染予防に十分な対応が必要である。

私が子供の頃は、夜はどこの家でも、一つか二つの電球をつけて食卓を囲み、三世帯~四世帯で火鉢や囲炉裏を囲み団らんして、子供は8時

ごろには寝たもので、電力の供給は教科書にも載っている水力発電だった。今や原子力やガス、石炭などを燃料にして発電していたが、福島原発事故以来ほとんどの原発は停止おり、脱炭素思考で燃やすものは批判されているが、ロシアのウクライナ侵攻による燃料不足で水力発電が活躍しているそう。新潟県妙高市の東北電力蔵々(そうぞう)発電所では稼働から115年経った水車発電機を分解点検しながら発電し続け、630世帯分を賄っているそう。今ではどこの家庭でも「断捨離」などというはやり言葉で骨董品以外は捨てる風潮にあるが「もったいない」精神は100年経っても生きていた。忘れられている物を大事にする姿は今一度見習うべきである。

しかし、暗いニュースばかりではなく、メジャーリーグの大谷選手は我々に明るいニュースを届け続けてくれた。MVPは票数ではジャッジに大差をつけられたが、その価値は比べられるものではない、異次元の活躍に対し格の違う賞を贈るべきではないか?来年も期待したい。

また、先日の新聞に中国一人勝ちのレアアースが小笠原諸島の南鳥島沖水深6,000mの海底で採掘が始められるという。我が国は資源の無い国と言われているが、レアアースの埋蔵量は国内消費量の数百年分相当と推定されるそうで、それが本当なら日本の将来は明るくなるかも知れない。

11月11日から13日まで、福岡市でアジア獣医師会連合(FAVA)大会が開かれ、埼玉県からも多くの先生方が参加されました。遠方までご苦労様でした。アジア大会なので日本の先生方も英語で発表されており、獣医学会も世界に並ぼうとしている姿が見えてきた。また、One Healthは我々獣医師にとっては多岐にわたっており、小動物、産業動物などの薬品残留問題、野生動物問題、殺虫剤、消毒薬などなど様々な問題が提起されていた。獣医師は今後益々社会に貢献していかなければならない。

今年は大変な年でした、来年こそは良い年であって欲しいと心から祈って会報第709号をお送りします。

(不動)

慢性腎臓病への適応を持つセミントラ®4 mg/mLと
慢性腎臓病および全身性高血圧症への適応を持つセミントラ®10 mg/mL 2つのラインナップ

セミントラ®

動物用医薬品

要指示

指定

慢性腎臓病と高血圧症に、2in1のベストケア

- 動物用として認められた国内唯一の高血圧症治療薬
- 高血圧症と併発しやすい腎臓病を同時にコントロール
- 猫に与えやすい液剤





日本獣医師会・獣医師会活動指針

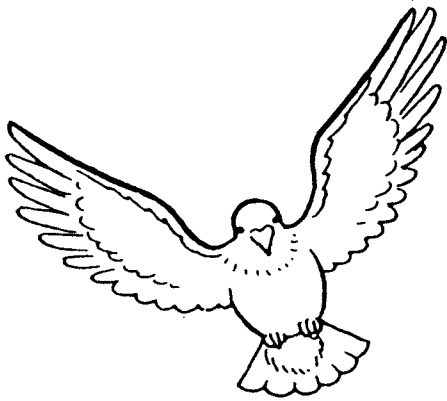
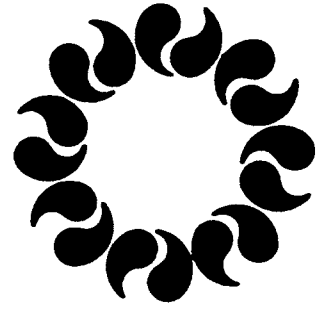
－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言－」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

彩の国



さいたま

